

宮地 正彦さん 61

## 地域病院など連携



「質が高く安全な医療、患者が安心できるサービスを提供していく」。一日付で掛川市と袋井市が運営する中東遠総合医療センターの院長に就任した。周囲のクリニックや福祉施設との連携も深め、救急や高度医療を強化し、「地域全体の医療

**おはよう:**

を充実させたい」と話す。

岐阜県土岐市出身。高校二年まで科学者にあこがれていたが、「人と直接かかわり、幸せになってもらえる仕事に就きたくて」と名古屋大医学部に進学した。卒業後、大垣市民病院と名古屋通信病院に勤務。米シヨズホプキンス大への留学などを経て、愛知医科大医学部助教授、二〇〇九年に同大特任教授に就任した。

専門は消化器外科。胃がんや大腸がんなどの執刀医として活躍する傍ら、手術後の機能回復の研究にも取り組んできた。初の院長業務にプレッシャーを感じつつ、逆境には強いタイプとも。「現場が好き。事務仕事だけでなく手術や外来もやりたい」と話す。掛川市掛川。  
(赤野嘉春)